

# 令和5年度校内研究 中年分科会提案

令和5年6月21日  
杉並区立富士見丘小学校  
中学年分科会

## 1 研究主題について

《 研究主題 》

学びの構造転換「キャリア教育の推進」

～すべての子どもが、なりたい自分になるために～

研究主題及びキャリア教育目標を受け、中学年分科会では、子どもたちが自分を理解し、よりよく伸びていこうとするために必要なことは何かを検討し、以下のように捉えた。

◎相手の伝えたいことが何かを考えながら聞くこと 【相手の考えや思いを理解する】

◎自分のよさや課題に気づき、表現すること 【自分のよさや課題に気付く】

◎これまでの経験を生かして、自分で課題に取り組むこと 【やりとげる】

このような学習や経験を意識して重ねていくことで、よりよい自分、なりたい自分になろうとする気持ちを育てていきたいと考えた。

## 2 目指す学びと指導の工夫

### (1) 主体的な学び

#### ○学習課題の設定

初発の感想をもとに児童と共に学習課題を作ること、興味関心とモチベーションを高められるようにする。また、自分たちが決めた学習課題を解決していくことで、児童にとって必然性のある学びになるようにする。

#### ○学習の見通し

学習活動を明確に示し、毎時間同じ流れで進めることによって、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。

～学習の流れ～

- ①サイドラインを引く。
- ②ペアで交流する。
- ③全体で共有する。
- ④「〇〇なりいこ」でまとめる。
- ⑤ワークシートに「りいこ」の気持ちを書く。

## (2) 対話的な学び

### ◎対話の形態

個→ペア→全体→個の形態で学習を進めることで、自分の考えと比べながら友達の見解を聞いたり、よいところを取り入れたりできるようにする。

### ◎ペア交流の活用 (本時の重点キャリア目標)

考えを交流する際に、相手の伝えたいことが何かを考えながら聞くことに重点を置き、相手の考えを理解しようとするを大切にしたい。相手がどこを選んだのか、相手が伝えたいことは何なのか、気持ちを傾けて聞くことは人間関係を作る大切な基盤である。また、同様に相手にもそのように聞いてもらえるということは、安心感や自己肯定感を高め、自分のよさに気付くことにもつながっていく。3年生では、まず「聞く」ということを大切に聞き合い、学年や発達段階に応じて、伝え合い、認め合い、高め合うことができるようにしていく。

## (3) 深い学び

### ○振り返りによる自己の変容

単元の終わり、初発の感想と比較して振り返らせることで、新たに気付いたことや、読み深まったことを児童自身が感じられるようにする。

## 3 分科会として見ていただきたい視点 (本時の学習)

視点① サイドラインを引いた箇所をペアで交流することは、互いの考えたことに興味をもって聞き合うための手立てとして有効であったか。

視点② ペアで交流したことを全体で共有する際に、友達の見解も含めて発表するという視点をもたせることは、自分の考えと比べたり友達の見解のよいところに着目したりして聞くために有効であったか。

※ 藤田先生からの指導・講評の中でいただく視点と併せて、  
グループ協議をお願いいたします。